

## 年間指導計画表

教科・科目	芸術科・美術基礎	単位数	2
		学科・学年・学級	普通科・創造表現コース 第1学年

## 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い創造活動を通して創ることのよこびを知り、意欲的に制作する態度を養う。</li> <li>鑑賞する能力を身につけ、美術文化についての理解を深める。</li> <li>感性を高めて美しさを探求する態度を養い、美術を愛好する心情を育てる。</li> </ul>
使用教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生の美術1(日本文教出版)</li> <li>新美術 表現と鑑賞(日本造形教育研究会/開隆堂出版株式会社)</li> <li>実技用具など</li> </ul>

## 2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	・美に対する感動や、自己の考えを主体的に表現しようとする。	授業態度など	10%
b. 発想や構想の能力	・多様な表現形式の特性を生かし、創造的な表現を追求することができる。	制作作品など	50%
c. 創造的な技能	・工夫して(意図に応じて)材料、用具を活かして表現することができる。	制作作品など	30%
d. 鑑賞の能力	・美術の働きや美術作品の美しさや特質等について自己の意見を持ち、互いに批評しあうことができる。	鑑賞態度など	10%

## 3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4~5	6	色彩学	色彩について学ぶ ・色の三要素(明度、彩度、色相)について学ぶ ・色の見え方や美術作品の中での効果について学ぶ	○		○	
	6	10	平面構成 I	アクリル絵の具を用いた平面構成について学ぶ ・アクリル絵の具の特性を学ぶ ・イメージをテーマとした色彩構成について学ぶ	○	○	○	
	6~9	20	平面構成 II	アクリル絵の具を用いた平面構成について学ぶ ・アクリル絵の具の特性を学ぶ ・モチーフを用いた色彩構成について学ぶ	○	○	○	○
後期	10~12	14	静物水彩	透明水彩による水彩画技法と表現について学ぶ ・透明水彩の特性を学ぶ ・静物画を描く際の画面構成について学ぶ ・水彩画の技法や、色の効果について学ぶ	○		○	○
	1~3	20	油彩画実習(自画像)	油彩による自己表現について学ぶ ・自分の顔を観察し、写実的・立体的に描写する ・顔の骨格について理解する ・油彩による人物表現について学ぶ	○		○	○